

山行報告書

報告書作成

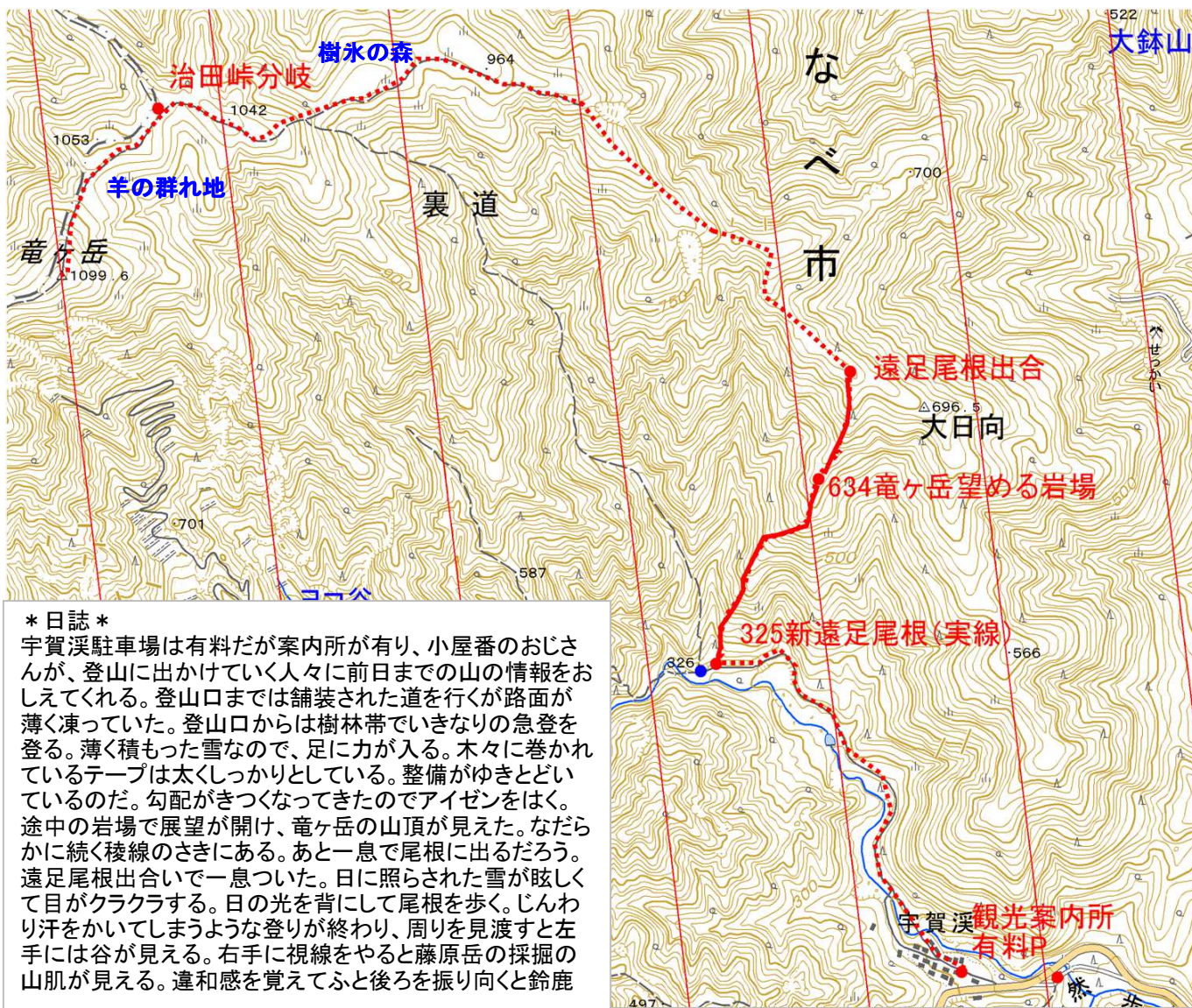
2013年2月16日

山名 [山域]	竜ヶ岳 [鈴鹿]	目的と方法	雪山を楽しむ(白い羊の群れを求めて)
登山期間	2013年2月10日	山行形態	日帰り
参加人数	2名		



行動記録

集合地(6:00)==豊田南IC(6:15)==桑名IC(6:45)==宇賀溪観光案内所駐車場(7:10/7:45)---遠足尾根登山口(8:10)---岩場634m(9:20)---遠足尾根出合(9:34)---裏道峠分岐---治田分岐(11:00)---竜ヶ岳(12:00)---治田分岐---裏道峠分岐(13:55)---遠足尾根出合(14:05)---遠足尾根登山口(14:55)---宇賀溪観光案内所駐車場(15:30/15:50)==桑名IC(16:30)==豊田南IC(16:55)==集合地(17:00)



* 日誌 *

宇賀溪駐車場は有料だが案内所が有り、小屋番のおじさんが、登山に出かけていく人々に前日までの山の情報をおしえてくれる。登山口までは舗装された道を行くが路面が薄く凍っていた。登山口からは樹林帯でいきなりの急登を登る。薄く積もった雪なので、足に力が入る。木々に巻かれているテープは太くしっかりとしている。整備がゆきとどいているのだ。勾配がきつくなってきたのでアイゼンをはく。途中の岩場で展望が開け、竜ヶ岳の山頂が見えた。なだらかに続く稜線のさきにある。あと一息で尾根に出るだろう。遠足尾根出合いで一息ついた。日に照らされた雪が眩しくて目がクラクラする。日の光を背にして尾根を歩く。じんわり汗をかいてしまうような登りが終わり、周りを見渡すと左手には谷が見える。右手に視線をやると藤原岳の採掘の山肌が見える。違和感を覚えてふと後ろを振り向くと鈴鹿

シロヤシオの樹氷の小さな森の中でテントを張っていた人がいた。笑顔で挨拶をしてくれた。樹氷は枝にモフモフついていて、樹氷を斜めに横切ると山頂へ続くまっすぐな道へ出た。白い雪原に冬枯れした笹の先がのぞき、さわさわと音を立てる。そこに寒気は無い。やさしい景色だ。さあ、ひと登りすると山頂だ。山頂は強風で曇っており、晴れていればみられたはずの白山、乗鞍、御在所などは見られなかった。でも、ここからが本日のクライマックスだ。山頂から見下ろすと、先ほどの樹氷の森が遠くに見える。そこへ続く一本の足跡、笹が覗いた雪原にシロヤシオの樹氷が転々としている様が「羊の群れ、放牧」なのだ。まっすぐな道を歩いている人が小さく見え、可愛いコビトに見える。私たちは羊の群れのなかに入ってお昼ごはんをたべた。しかし吹き抜ける風があまりにも寒いので、早々に引き上げた。樹氷の森の近くまでくると風も止んだ。まっすぐな道の横で3人のコビトがちょこんと座っておしゃべりしていたので、私たちも近くに座った。おやつタイムはMさんお手製のジンジャーミルクティとりんごパイ。メルヘンチックな気分になった。後ろを振り返れば鈴鹿の街、でもここは羊の雪原。ここへ来た人皆がほんわかした気持ちになったのではないかなと思う。

* 感想 *